

オカリナ／ケーナ奏者  
和田名保子コンサート

R O U R A N

和  
奏

題字 悠杏

■日時／**2013年7月13日(土)** 開場／17:30  
開演／18:00

■会場／**電気ビル共創館 みらいホール**  
福岡市中央区渡辺通2-1-82 電気ビル共創館 4階

■前売 **¥4,000** (税込) <当日¥4,500 (税込)>  
全席自由

■主催／ムーンライトオフィス  
■後援／福岡市・福岡市教育委員会・(公財)福岡市文化芸術振興財団  
■問い合わせ／ムーンライト オフィス tel/fax: 080-4284-8561  
(平日10:00～18:00)

■チケット取扱／  
◆ムーンライトオフィス (平日10:00～18:00)  
TEL 080-4284-8561  
全国のローソンにてお求めいただけます。  
◆ローソンチケット  
TEL 0570-084-008 Lコード 86025  
※コンピュータ受付、プッシュ回線専用です。  
※ご予約の際、Lコードが必要です。※24時間対応

◎和田名保子ホームページ <http://wadanaoko.net/>

※コンサートの収益金の一部を、東日本大震災の活動支援金として  
認定NPO法人ロシナンテスに寄附いたします。

# 和蘭

R O U R A N

## 和 田 名 保 子 コンサート

オカリナ／ケーナ奏者

かつて、楼蘭王国はシルクロード東部の要衝であった。

今から2000年前、中国の出口・敦煌から、砂漠を西方に半月ほども進むと、後年“彷徨える湖”として知られることになるロプノールのほとり、楼蘭にたどり着いた。ここから、シルクロードは、天山北道・天山南道のふたつに分かれてゆく。

楼蘭王国の建国は、いつのことかはっきりわからない。漢代の記録によれば、その人口は3万人を数え、高い仏塔を中心に、長い城壁で囲まれていた。

その昔、この楼蘭国には東西から多くの商隊が集まった。様々な言葉が飛び交い、隊商宿の前には、ペルシアの絨毯や中国の絹が並べられた。夜になると、至るところで火がたかれ、酒宴が始まり、旅人たちは、楼蘭人のあついてもなしに旅の疲れを癒した。

そんなオアシス国家楼蘭は、その豊かさ故に、近隣の民族にとっては、垂涎的でもあった。



オカリナ／ケーナ奏者 旋律作家 和田名保子

音楽のテーマは、月、地球、大海原、大陸、絹街道…そして古代瑞穂。木々のささやきに月と大地の声をきき、波頭をかすめる海風に、遙かなる時の行方を問う。

その声は詩となり、詩は深い眼りのなかから瑞々しい音律を喚びます。風はかすかな時の残光をして、過ぎ去りにしえの風景を織りなす。その音律と風景はオカリナとケーナの息吹に託され、和田名保子の音楽世界を紡ぎあげてゆく。

チェリスト・吉川よしひろ氏、チャランゴ奏者・木下尊淳氏、オカリナ奏者・大沢聡氏、沖縄在住の音楽ユニット・SAKISHIMA meeting(下地勇/新良幸人)とのライブでの共演の他、下地勇氏のCDアルバム「民衆の躍動」、韓国ボベラデュエットHUE(ヒュ)のCDアルバム「懐かしさの向こう」に参加など、共演した音楽家のジャンルは多彩。

題字 悠杏

■日時/ **2013年7月13日(土)**

開場/17:30 開演/18:00

■会場/ **電気ビル共創館 みらいホール**  
福岡市中央区渡辺通2-1-82 電気ビル共創館 4階

■前売 ¥4,000 (税込) <当日¥4,500 (税込)>  
全席自由



ピアニスト サトウユウ子

福岡県出身。学生時代にクラシックを勉強していたが「鍵盤の皇帝」として知られる名JAZZピアニスト、オスカー・ピーターソンやキース・ジャレットの即興演奏に感銘を受けJAZZピアノを始める。1997年から沖縄に移住し、JAZZを中心に演奏活動が続いている。現在まで音楽のジャンルを問わずBLUESギタリスト・内田勘太郎、下地 勇等、名だたるアーティストとの共演をはじめ、レコーディングの名演も多数。ピアニストだけではなく画家としての顔も持つ。沖縄三線奏者・新良幸人とのコラボレーションアルバム「浄夜」をリリース。



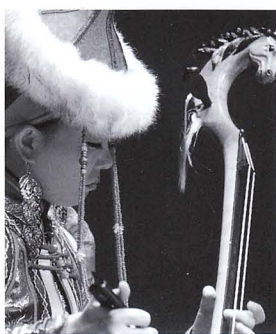
ギター 松下隆二

1971年福岡市出身。7才よりクラシックギターを故坂本一比古氏に師事。1993年第39回九州ギター音楽コンクール優勝。1994年渡仏しパリ・エコール・ノルマル音楽院に入学。アルベルト・ボンセ、パブロ・マルケス各氏のもと研鑽を積む。2009年福岡市に於いて鈴木大介・田口暢治両氏とのトリオ・コンサート「GUITAR Vol. II」を開催し大成功を収める。唐人町ギター教室主宰。九州ギター音楽協会理事。福岡市在住。



低音馬頭琴 中村通

弦楽器製作家/サウンドデザイナー。  
7歳よりクラシックギターを始め、13歳からピアノを習い始める。クラシックギター製作家として国内外で活躍。また地元福岡での音楽活動や劇団テアトルハカタ、パレ音楽の作曲などを手がける。様々な弦楽器の構造と歴史、アジアの民族楽器の奏法の研究もしている。  
中国の民族楽器二胡を楊藝(Yang Yi)に師事。  
2010年 Doran Trioの為に低音馬頭琴を製作。  
2012年 第5回世界華人芸術祭(中国深圳)二胡団体演奏の部で金賞を受賞。  
<http://www.toruguitar.com>



馬頭琴 ドラン

中国内モンゴル自治区出身。中国馬頭琴学会会員。  
野馬(イェマ)馬頭琴楽団コンサートマスターの敖那拉圖(オナラト)氏に師事。  
2001年 チ・ボラグ(Chi Bulag)氏がプロデュースしたフホト国際青少年馬頭琴芸術祭「1000人の馬頭琴演奏」ギネス認定に参加。2002年 内モンゴルのTV番組に出演。2003年来日。  
2010年 チ・ボラグ& TOKYO万馬頭琴アンサンブルと千葉公演で共演。2011年 にファーストアルバム『Over there of the sky』をリリース。2012年 来日10周年記念コンサートを記念して初のソロアルバム『草原のチェロ 馬頭琴の魅力』を開催し好評を博す。



語り 岩城朋子

類いまれなその声色で、九州の役者では唯一の声の演じわけの才能と、ダントツの演技力で多くのファンをもつ。  
日本舞踊歴25年、ダンス歴20年、演劇の世界で舞台役者に専念し始めてからは、その群を抜いた存在感に一気に注目を集めるが、大きな転機は自身予想もしなかった「役者が語る絵本読み聞かせ」の依頼を受けてのとき、読み聞かせチームのなか邪道とされる声色での何役も演じわけを披露。結果、「子供達は集中力が続かない」と言う大人達をしりに、岩城の語りは聞く人の心を捉えて放さない事を最も難しい子供を相手に証明してみせる。この特質に着目した、楽器の演奏とのコラボライブや、歴史の偉人達を芝居仕立てで語るイベント等の依頼が急増、現在に至る。